

施策分析シート（平成23年度）

No1

施策名	観光による地域活性化の推進	施策No	06-01	部課名	産業経済部観光振興課	課長名	谷井 千絵	内線	460
関連部課名									
行政評価事業体系	分野	産業革新都市[Ⅲ]							
	政策	人が集う魅力あるまちの形成[06]							
目的	区の魅力を広く情報発信するとともに、観光資源や来訪者の受入体制を整備するなど、観光の視点から区の魅力を高め、区内産業の振興と地域のイメージ向上・活性化を図る。								
指標	施策の成果とする指標名		指標の推移					指標に関する説明	
			20年度	21年度	22年度	23年度	目標値 (28年度)		
	①	観光イベント等入場者数	94千人	96千人	90千人	30千人	110千人	川の手荒川まつり（23年度中止）、汐ざくら祭り（23年度中止）、産業展（22年度中止）、伝統技術展、バラの市、都電ウォークラリー	
	②								
	③								
現状と課題（指標分析）	区外から来訪者を呼び込むためには、人々の観光に対する考え方やニーズの多様化を的確にとらえ、これに対応した観光情報を発信するとともに、来訪者の満足度を高める観光メニューの提供に努めていくことが必要である。 観光振興を推進するためには、来訪者を受け入れるために、地域で生活する区民や地域で活動する事業者の自主的・自立的な取組みが必要であり、地域全体で来訪者を歓迎しもてなす気運を醸成していくことが重要である。 （指標の数値は、天候等外部的な要因で左右される場合が想定されるものである。）								
今後の方向性	○区における観光振興を推進するため、観光振興懇談会の報告等を踏まえ、現在実施している施策について、必要に応じて見直しや拡充を図っていく。 ○既存の観光資源に加え、新たな観光資源を探し、作り出す。 ○多様な手法により区の魅力や観光情報を効果的に発信する。 ○区の地域特性、資源を活かした独創性ある観光振興施策を検討、実施していく。 ○観光振興施策の実施に当たっては、観光イベントの支援など区民や事業者との連携や協働を推進するとともに、役割分担など推進体制の整備を進めていく。								

施策の分類		分類についての説明・意見等
前年度設定	今年度設定	
重点的に推進	重点的に推進	区において観光振興を推進することにより、区のイメージアップや区への来訪者の増加を図ることができ、地域経済・産業の活性化、住民の地域に対する誇りの高揚、来訪者との交流による地域の活性化等、多くの効果が期待できる。

施策分析シート（平成23年度）

No2

施策を構成する事務事業の分類						
事務事業名	事務事業 No	決算額（千円）		施策推進のための 分類		分類についての説明・意見等
		21年度	22年度	前年度 設 定	今年度 設 定	
ロケーション関連事業	04-03-01	666	777	継続	継続	ロケーション施設の柱である旧道灌山中学校の暫定利用の状況を見定めながら実施する。
観光情報提供事業	04-03-02	4,738	3,590	重点的に推進	推進	観光情報パンフレット等については、これまで重点的に推進してきた結果、現在9種類（23年度作成予定含む）を作成しており、内容の充実が図られたため、今後はより効果的な発信について推進していく。
荒川区観光大使PR事業	04-03-03	225	85	推進	継続	引き続き、観光大使のPR力の活用を図る。
産業観光推進事業	04-03-04	3,475	3,324	推進	推進	モノづくり見学・体験スポットの新規開拓及び更なる周知を図る。
観光イベント助成	04-03-05	11,845	11,218	重点的に推進	重点的に推進	区民・事業者の自主的活動こそが、観光振興による地域活性化を図る上で欠かせないものであり、支援を進める必要がある。
観光振興懇談会運営費	04-03-06	109	108	推進	継続	引き続き、区としての観光振興施策の今後の方向性を検討し、施策の充実を図る。
都電荒川線活用事業	04-03-07	971	802	推進	重点的に推進	今年度は都電荒川線100周年にあたるため、民間や他自治体等との連携を図りながら、関連事業等を実施していく。
受入体制整備事業	04-03-08	1,540	1,890	推進	推進	中国を中心とする海外からの来訪者数の回復を見込んで更なる来訪者増加を目指すため、受入体制の整備を進める必要性は高い。
合 計		23,569	21,794			